

25日 月曜

ルカ

2:25 そのとき、エルサレムにシメオンという人がいた。この人は正しい、敬虔な人で、イスラエルが慰められるのを待ち望んでいた。また、聖霊が彼の上におられた。

2:26 そして、主のキリストを見るまでは決して死を見ることはない、聖霊によって告げられていた。

2:27 シメオンが御霊に導かれて宮に入ると、律法の慣習を守るために、両親が幼子イエスを連れて入って来た。

2:28 シメオンは幼子を腕に抱き、神をほめたたえて言った。

2:29 「主よ。今こそあなたは、おことばどおり、しもべを安らかに去らせてくださいます。

2:30 私の目があなたの御救いを見たからです。

2:31 あなたが万民の前に備えられた救いを。

2:32 異邦人を照らす啓示の光、御民イスラエルの栄光を。」

2:33 父と母は、幼子について語られる様々なことに驚いた。

2:34 シメオンは両親を祝福し、母マリアに言った。「ご覧なさい。この子は、イスラエルの多くの人が倒れたり立ち上がったたりするために定められ、また、人々の反対にあうしるしとして定められています。

2:35 あなた自身の心さえも、剣が刺し貫くことになります。それは多くの人の心のうちの思いが、あらわになるためです。」

2:36 また、アシェル族のペヌエルの娘で、アンナという女預言者がいた。この人は非常に年をとっていた。処女の時代の後、七年間夫とともに暮らしたが、

2:37 やもめとなり、八十四歳になっていた。



彼女は宮を離れず、断食と祈りをもって、夜も昼も神に仕えていた。

2:38 ちょうどそのとき彼女も近寄って来て、神に感謝をささげ、エルサレムの贖いを待ち望んでいたすべての人に、この幼子のことを語った。

シメオンとアンナは長年、救い主の誕生を待ち望んでいました。彼らの夢は自己実現や物質的なものではなく、世の人々のためのものです。そのような夢は主の御心にかなうので、必ず実現するのです。そして彼ら自身も喜びに満たされます。さらに主は、これら二人の希望のゆえに、その人生を守ってくださいました。

このような夢を持ちましょう。そしてみことばに励まされて、求めましょう。そのような生涯は天の命の書に記されることになるでしょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

